

都市再生整備計画 事後評価シート

都心ゾーン地区

令和6年2月

京都府長岡京市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府		市町村名	長岡京市		地区名	都心ゾーン地区			面積		173ha			
交付期間	令和2年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	1,472百万円	国費率	0.483						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名													
		基幹事業	(道路)庁舎西地区道路新設工事、市道第4042号線道路改良工事、(地域生活基盤施設)JR長岡京駅 駅前広場整備工事、(高次都市施設)多目的スペース												
		提案事業	(地域創造支援事業)中央長岡第1号汚水幹線												
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業													
		提案事業	(地域創造支援事業)中央長岡第1号汚水幹線					計画期間内に事業が完了する見込みがないため、計画から削除。			影響なし				
		新たに追加した事業	基幹事業	(地域生活基盤施設)阪急長岡天神駅東地区駅前広場					第1回変更(令和2年9月)にて追加。			駅前広場整備により、都心ゾーンの賑わい創出・魅力向上への効果が期待できる。			
	提案事業														
交付期間の変更	当初			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
	変更														
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	地区内人口	人	17,362	H30	17,362	R4		17,498	○	あり なし	市役所供用開始、道路整備等により都市の利便性が高まり、地区内の人口が増加したと考えられる。			
	指標2	JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	35,895	H29	35,895	R4		29,987	△	あり なし	駅前広場の整備が部分的に進み交通結節点としての機能が高まったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が減少した。			
	指標3	広場活用イベント開催回数	回数/年	131	H30	154	R4		158	○	あり なし	バンビオ広場に加えて市役所1階ロビーでもイベントが可能となり、市民の活動の場を増やすことができた。			
	指標4														
	指標5														
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	地区内の地価(地価公示・地価調査)の平均値	円/㎡	228,375	H30				256,125			地区内の道路、広場等の整備が進むことで地域の魅力や利便性が向上し、それらが地価にも反映されたものと思われる。			
	その他の数値指標2														
	その他の数値指標3														
4)定性的な効果発現状況	・市役所新庁舎内に市民交流ロビーを整備したことで、市内で活動する市民団体や個人の創作発表の場が創出され、市民活動がより活発に行われるようになった。また、市民からも、“これまでは特定の用事がある際にしか市役所を訪れる機会が無かったが、市民ロビーで様々な展示や催しが行われるようになってからは、催しを目的に定期的に市役所へ訪れるようになった”との声が聞かれるようになった。 ・市役所新庁舎の整備に合わせて「庁舎西道路」を整備したことで市役所へのアクセスが非常に容易となり、上記市民ロビーの整備と合わせて「訪れやすい市役所づくり」という観点から高い相乗効果を発揮している。 ・阪急長岡天神駅やJR長岡京駅の駅前広場の整備が完了し、広場を利用する市民からは“以前から、駅前空間には市の玄関口としてふさわしいゲート性を備えた整備が必要だと感じたので、このような立派な広場が出来て大変喜ばしい”という声を多数いただいている。														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組		阪急長岡天神駅東地区駅前広場の整備に関する意見交換会 JR長岡京駅東口駅前広場賑わい空間整備に向けた意見交換会					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					阪急長岡天神駅 駅前広場については、今後の広場の管理や利活用においても近隣住民の意向等を把握しながら取り組みを進める。 JR長岡京駅 駅前広場については、引き続き第2期計画において賑わい広場設置に向けた検討を進める。		
	持続的なまちづくり体制の構築		長岡天神駅周辺まちづくり協議会による「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」の具体化に向けた活動					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					まちづくり協議会と連携し、住民目線でのまちづくりを引き続き推進していく。		

都心ゾーン地区(京都府長岡京市) 都市再生整備計画事業の成果概要

Downloaded from <http://www.sagepub.com> at NANYANG TECH UNIV LIBRARY on June 11, 2015



まちの課題の変化	・市役所新庁舎市民活動ロビーや阪急長岡天神駅東口駅前広場を整備したことにより、市民活動の発表の場や気軽に憩うことが出来る場の創出につながった一方で、比較的大規模なイベントの実施が可能な場の整備を望む声が多く寄せられ始めた。 ・地区内の通学路をはじめとした歩道空間の改良工事を進めたことで、安全に通行できる区間が拡大し、歩きたくなる中心市街地づくりは一定進行したと言える。一方で、いまだに多くの狭隘な歩道空間が残されており、継続して歩道空間改良事業を行っていく必要がある。 ・駅前広場の整備が進行することで、駅の持つ交通結節点機能は一定の強化が図られた。一方で、一歩進んだ広場機能として、子供や体を動かしづらい人・高齢の人など様々な境遇の市民が利用しやすいトイレやサニタリーなどのアメニティ機能の拡充を望む声も多く聞かれるようになった。
今後のまちづくり の 方策 (改善策を含む)	・中心市街地のにぎわい創出につながる、市民が自由にアクセスし活用できるイベントスペースや貸しホールなどの整備を行っていく。 ・“歩きたくなる街なかづくり”を推進するため、継続して歩道空間改良事業を行っていく。 ・様々な境遇の人にとって使いやすい、次世代のバリアフリー水準を備えた公衆トイレを駅前に整備し、駅の持つ交通結節点機能を強化していく。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

添付様式3－① モニタリングの実施状況

添付様式3－② 官民連携による取組みの実施状況

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

添付様式5－② まちの課題の変化

添付様式5－③ 今後のまちづくり方策

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定の地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	庁舎西地区道路新設工事	532	L=120m	455	L=120m		影響なし	●	
道路	市道第4042号線道路改良工事	16	L=150m	15	L=150m			●	
地域生活基盤施設	JR長岡京駅 駅前広場整備工事	313	A=6,400m2	192	A=6,400m2		影響なし		●
地域生活基盤施設	阪急長岡天神駅東地区駅前広場	—	—	579	A=1,000m2	令和2年9月に計画変更して追加。	駅前広場整備により、都心ゾーンの賑わい創出・魅力向上への効果が期待できる。	●	
高次都市施設	多目的スペース	40	A=94m2	39	A=94m2			●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造支援事業	下水道整備	23	L=200m	—	—	計画期間内に事業が完了する見込みがないため、計画から削除。	影響なし		
事業活用調査									
まちづくり活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
S街路事業		(都)御陵山崎線(第3工区)	2,600	2,600	平成27年～令和7年		用地買収が進んでおり、今後工事着手が見込まれている	京都府実施事業

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
															あり	なし
指標1	地区内人口	人	住民基本台帳より街区別人口データを収集し、地区内の人口を算出。街区内に地区の境界がある場合、面積按分により推計。	17,177	H19	17,362	H30	17,362	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	●	17,498	事後評価	○	
指標2	JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	長岡京市統計書により公開されているデータを整理。(事後評価時点では令和4年度データは公開前であり、事業者よりデータを収集)	38,155	H19	35,895	H29	35,895	R4	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定	●	29,987	事後評価	△	
指標3	広場活用イベント開催回数	回数/年	バンビオ広場(JR長岡京駅)、長岡京市役所1階ロビーにおけるイベント実施回数を整理。	82	H24	131	H30	154	R4	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定	●	158	事後評価	○	
										見込み						

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	計画区域内の人口維持を目標として挙げていたが、その目標を達成するだけでなく長期的な人口増加の傾向を維持することができた。	
指標2	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降乗客数が大きく減少した。令和4年度には一定の回復が見られるものの、生活様式の変化により乗客数がコロナ以前と同程度に回復する可能性は低いと思われる。	
指標3	バンビオ広場においては従前値以上の回数(146回)のイベントが開催された他、令和4年度に供用開始された市役所1階ロビーにおいても計12回のイベント(令和5年3月まで)が開催された。	・長岡京市役所1階ロビーは令和5年1月より供用開始。 ・パネル展示等については開催期間を通して1回として集計。その他は開催日数を開催回数として集計。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2ー② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	地区内の地価(地価公 示・地価調査)の平均値	円/㎡	地区内に位置する標準地・基準 地における地価(地価公示・地 価調査)の平均値を、国土数値 情報(地価公示・都道府県地価 調査)より集計。	238,500	H20	228,375	H30	モニタリング			道路、広場等の整備に伴う地 域の活性化や魅力向上、利便 性の向上について評価するた め。	・当該地周辺の居住環境のみ でなく、全国的な景気動向に よって当該数値が増減する傾 向にある。 ・標準地と基準地が同じ場合 は標準地(地価公示価格)を 参照。
								事後評価	確定	●		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2ー参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・市役所新庁舎内に市民交流ロビーを整備したことで、市内で活動する市民団体や個人の創作発表の場が創出され、市民活動がより活発に行われるようになった。また、市民からも、“これまでは特定の用事がある際にしか市役所を訪れる機会が無かったが、市民ロビーで様々な展示や催しが行われるようになってからは、催しを目的に定期的に市役所へ訪れるようになった”との声が聞かれるようになった。
- ・市役所新庁舎の整備に合わせて「庁舎西道路」を整備したことで市役所へのアクセスが非常に容易となり、上記市民ロビーの整備と合わせて「訪れやすい市役所づくり」という観点から高い相乗効果を発揮している。
- ・阪急長岡天神駅やJR長岡京駅の駅前広場の整備が完了し、広場を利用する市民からは“以前から、駅前空間には市の玄関口としてふさわしいゲート性を備えた整備が必要だと感じたので、このような立派な広場が出来て大変喜ばしい”という声を多数いただいている。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3－① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3－② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
阪急長岡天神駅東地区駅前広場の整備に関する意見交換会	予定どおり実施した	【実施回数】計4回 【実施時期】令和3年度～令和4年度 【実施結果】駅前広場整備にあたり、近隣住民等の意見を把握するための意見交換会を行った。模型などを用いて丁寧に意見交換を進めることにより、近隣住民の意見を反映して広場整備を進めることができた。	今後の広場の管理や利活用においても、近隣住民の意向等を把握しながら取り組みを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
JR長岡京駅東口駅前広場賑わい空間整備に向けた意見交換会	予定どおり実施した	【実施回数】計3回 【実施時期】令和3年度 【実施結果】JR長岡京駅東口に隣接する企業との意見交換会を実施し、駅利用者の意見を踏まえた整備方針の検討を行うことができた。	引き続き、第2期計画において賑わい広場設置に向けた検討を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
長岡天神駅周辺まちづくり協議会による「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」の具体化に向けた活動	予定どおり実施した	まちづくり基本構想の周知・長岡天神駅周辺のまちづくりへの関心を高める活動を行う。また、今後の協議会活動の内容やあり方についても検討する。	長岡天神駅周辺まちづくり協議会	まちづくり協議会と連携し、住民目線でのまちづくりを引き続き推進していく。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課、 公共資産活用推進室、住宅営繕課	令和5年5～7月	まちづくり政策室

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標3		その他の数値指標1			
指 標 名		地区内人口		広場活用イベント開催回数		地区内の地価(地価公示・ 地価調査)の平均値			
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	庁舎西地区道路新設工事	○	市役所新庁舎の供用 開始や地区内の歩道 拡幅整備、、駅前広場 整備などにより、都市 の利便性が高まり、住 みやすいまちとしての イメージ定着が進み、 地区人口の増加に貢 献したと考えられる。	—	既往のイベントスペ ースであるバンビオ広場 に加えて市役所1階ロ ビーでもイベントが実施 可能となったことによ り、市民の活動の場を 増やすことができた。	○	地区内の地価の平均 値は従前値と比較して 1割程度増加しており、 また、地区の中心的な 位置であるJR-阪急間 の地価については2割 程度増加している箇所 も見られた。地区内の 道路、広場等の整備が 進むことで地域の魅力 や利便性が向上し、そ れらが地価にも反映さ れたものと思われる。		
	市道第4042号線道路改良工事	○		—		○			
	JR長岡京駅 駅前広場整備工事	○		△		○			
	阪急長岡天神駅東地区駅前広場	○				○			
	多目的スペース	○		◎		○			
提案事業									
関連事業	(都)御陵山崎線(第3工区)	○		—		○			

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に
貢献しなかった。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確
なので、評価できない。

今後の活用	第2期整備計画においても引き 続き地区内の整備を進め、将 来的な人口維持を目指す。	バンビオ広場、市役所1階ロ ビーを活用した市民の活動を推 進し、更なる賑わいづくりを図 る。	第2期整備計画においても道路 や広場等の整備を進め、市域 の賑わいを牽引するまちづくり を目指す。
-------	---	---	--

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2											
指 標 名		JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	庁舎西地区道路新設工事	—	阪急長岡天神駅東口駅前広場やJR長岡京駅の駅前広場の整備が部分的に進み交通結節点としての機能が高まったものの、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が減少した。	Ⅲ									
	市道第4042号線道路改良工事	—											
	JR長岡京駅 駅前広場整備工事	△											
	阪急長岡天神駅東地区駅前広場	△											
	多目的スペース	—											
提案事業	中央長岡第1号汚水幹線	—											
関連事業	(都)御陵山崎線(第3工区)	—											

※目標未達成への影響度
× ×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化を踏まえつつ、駅前の賑わい創出・公共交通の利用促進に向けた取り組みにより交通結節機能の強化を図り、鉄道等の公共交通利用者の維持・増加を目指す。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画にかかる庁内検討会議	まちづくり政策室、道路河川課、公共資産活用推進室、住宅営繕課、公園緑地課	令和5年5～7月	まちづくり政策室

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した新たな課題
市域をけん引する賑わいある市街地の形成	・市役所の多目的スペースの完成によりイベント回数が増加し、地区内の賑わいを高めることができた。		・新庁舎市民ロビーが完成し市民活動の場が整備され、市民活動の機運が活発化したことで、比較的大規模なイベント実施が可能な場の整備を望む声が寄せられるようになった。 ・一歩進んだ広場機能として、市民が利用しやすいトイレやサニタリーなどのアメニティ機能の拡充を望む声も多く聞かれるようになった。
駅へのアクセス性向上及び交通結節機能の強化	・JR長岡京駅東口駅前広場や阪急長岡天神駅東口駅前広場が完成し、駅へのアクセス性・滞在快適性や、交通結節機能の強化が図られた		
高齢者や障害者、子育て世代など誰もが歩いて暮らせるまちづくり	・道路空間の整備により安全な歩行空間を確保することができた。	・いまだに多くの狭隘な歩道空間が残されており、継続して歩道空間改良事業を行っていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5ー③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	市民活動の場の拡大	・第2期計画において整備する新庁舎2期庁舎において、一般の個人・団体等が利用できる空間を整備する。	・市庁舎2期庁舎への貸しホールの整備
	地区内の道路空間の整備の継続	・第2期計画のおいでも引き続き、地区内の道路空間の整備を行い「誰もが歩いて暮らせるまちづくり」を進めていく。	・地区内における側溝、舗装等の道路空間の整備

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	駅前広場の整備による交通結節点機能と賑わいの向上	・駅前広場に必要施設等の検討および整備を進め、駅の利便性や賑わいの一層の向上を目指す。	・賑わい広場の検討及び整備の実施 ・公衆トイレ整備の実施

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5ー③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

✓	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
✓	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
✓	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4ー②)を再確認した。
✓	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4ー③)を再確認した。
✓	残された課題や新たな課題(添付様式5ー②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			従前値	目標値	評価値			目標 達成度	1年以内の 達成見込みの 有無
		単位	年度	年度					
指標1	地区内人口	人	17,362 H30	17,362 R4	確定 見込み	● ○	17,498	○	あり なし
指標2	JR長岡京駅・阪急 長岡天神駅の平 均乗客数	人/日	35,895 H29	35,895 R4	確定 見込み	● ○	29,987	△	あり なし ●
指標3	広場活用イベン ト開催回数	回数/年	131 H30	154 R4	確定 見込み	● ○	158	○	あり なし
その他の 数値指標1	地区内の地価の 平均値	円/㎡	228,375 H30		確定 見込み	● ○	256,125		

フォローアップ計画		
予定時期	計測方法	その他特記事項

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標・成果の達成	うまくいった点	明確に数値として集計できる要素を指標としたことで、達成度合いの評価が明確に行えた。	他地区で実施する際にも、数値化できる指標を積極的に採用していきたい。 次期計画においては新型コロナウイルスがもたらした行動変容を踏まえた上で、数値目標や整備内容を精査していく必要がある。
	うまくいかなかった点	「駅の乗降客数」に関しては、新型コロナウイルスの感染拡大といった、予期できない事象の発生により、リモートワークの浸透や外出・観光控え、通販事業の拡大といった社会的な構造変容が生じ、目標値には到達できなかった	
数値目標と目標・事業との整合性等	うまくいった点	広場活用イベントの開催回数などは整備内容と直結した指標であるため、整備効果がダイレクトに評価できた。	引き続き、整備内容をダイレクトに反映できる数値目標の設定を心掛ける。 「地区内人口」については、左記の通り複合的な要因により増減する性質は一定有るものの、その地域の持つ活力や地域経済規模を如実に表した指標ととらえることが出来るので、他地区においても指標の一つとして継続して採用する。
	うまくいかなかった点	「地区内人口」などは、地区内での宅地開発やマンション建設などの複合的な要因で数値が増加した側面もあった。	
住民参加・情報公開	うまくいった点	広場整備にあたって周辺の住民等との意見交換会を実施したことにより、地域の意向を反映させた広場整備を行うことができた。	住民に身近な施設の整備等にあたっては、意見交換会・ワークショップ等を積極的に実施して地域の意向を把握し、住民参加によるまちづくりを推進する。
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業・評価の進め方	うまくいった点		以降の計画においては、大きな社会的変化が生じた場合には、事業実施期間中にモニタリングを実施することも検討し、必要に応じて整備計画の変更や評価指標の変更等の対応を行う。
	うまくいかなかった点	事業実施期間中のモニタリングを行わなかったため、社会情勢の変化(新型コロナウイルス感染症の拡大等)を評価指標等に反映させることができなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

■今後、事後評価を予定する地区

本市では、令和5年から令和9年を計画期間とする「第二期都心ゾーン地区 都市再生整備計画」に基づく事業を進めている。計画の評価にあたっては、本地区における事後評価の経験を活かし、効率的・効果的な事後評価の実施を目指す。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和5年9月13日～10月13日	令和5年9月25日～10月13日	担当課への電話、 FAX、電子メール	まちづくり政策室
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	長岡京LIFE 10月号 (令和5年10月1日発刊)	令和5年9月25日～10月13日		
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見無し
-------	------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	大田 直史(龍谷大学教授) 佐伯 康介(元京都市交通政策監)	令和5年12月4日	まちづくり政策室	長岡京市まちづくり条例	長岡京市まちづくり審議会
その他の委員	横山 雅宏(市民公募委員)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・適正であると確認された
	成果の評価	・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、阪急長岡天神駅の乗降客数が一時的に大きく減少したあと、その勢いの回復が緩やかなものにとどまっている要因の一つとしては、平成25年に開業した阪急西山天王山駅が開業して、利用者が分散したことも影響しているのではないかと ・適正であると確認された
	実施過程の評価	・適正であると確認された
	効果発現要因の整理	・JR長岡京駅の広場整備については、西口・東口の別をはっきりと記載するように ・効果発現要因の整理自体は適正であると確認された
	事後評価原案の公表の妥当性	・妥当であると確認された
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・妥当に進められたことが確認された
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・市民団体の活動をさらに活性化していくためにも、その活動の器となる施設整備が一層図られていくことが望ましい
	フォローアップ	・妥当であると確認された
	その他	
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	妥当であることが確認された
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第二回変更)

としん ちく
都心ゾーン地区

きょうとふ ながおかきょうし
京都府 長岡京市

令和3年10月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	☐
まちなかウォークابل推進事業	☐

目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	京都府	市町村名	長岡京市	地区名	都心ゾーン地区	面積	173	ha
計画期間	令和2年度～令和4年度	交付期間	令和2年度～令和4年度					

目標
大目標 利便性の高さを享受できる魅力あふれるまちづくりの推進 目標① 地域の賑わいをけん引する賑わい・魅力づくりの創生 目標② 市の顔としての交流・交通結節機能の強化 目標③ 災害に強く、安全・安心で快適な環境の実現
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 ・本市は、京都・大阪間の交通至便での良好な住宅都市として、人口は微増しているが、少子高齢化は年々進行し、空き家が増加している。JR長岡京駅及び阪急長岡天神駅周辺の中心市街地では、長岡中央商店街(アゼリア通り)の連坦化かが十分でないなど、都心としての求心力が低下し、魅力ある賑わい空間の創生が求められている。一方で西国街道では、古いまちなみなど歴史的資源も残されている。 ・こうしたことから、JR長岡京駅及び阪急長岡天神駅の交通結節機能を高め、公共交通の利用促進を行うとともに、市役所を中心とした中心市街地において、人口集積や賑わいを維持するために、生活サービス施設を集約しながら効率的なサービスを提供し、生活サービス施設周辺に居住を誘導して施設にアクセスしやすくするなど、コンパクトなまちづくりを推進する。
まちづくりの経緯及び現況
・本市は、京都府南部に位置し、京都・大阪の中間に位置する高い利便性と自然の豊かさをもたらす快適性が調和する都市である。 ・市の東部をJR東海道本線、中央部を阪急電鉄京都線が並行して通っており、JR長岡京駅、阪急長岡天神駅、阪急西山天王山駅を拠点としてバス網が形成されており、駅を中心に市街地が形成されている。市南部には京都縦貫自動車道の長岡京ICがあり、高速長岡京バスストップが併設されて阪急西山天王山駅と接続し、さらに名神高速道路とは大山崎JCTとつながっているなど、交通利便性に優れている。 ・本地区は、JR長岡京駅周辺から阪急長岡天神駅を結ぶ、市役所をはじめ、保育所・幼稚園、小学校、病院が徒歩圏内に立地する利便性の高い、市の中心拠点となる地区である。 ・人口は増加傾向(平成17年43,731人→平成27年44,894人)にある。老年人口は増加傾向(平成17年7,801人→平成27年11,697人)にあるが、年少人口も増加傾向(平成17年5,754人→平成27年5,868人)にあり、子育て世代を中心に人口が増加している傾向にある。なお、本市の昼間人口も増加(平成17年71,404人→平成27年72,916人)傾向にあり、市域内で過ごす人口が増加している一方で、本地区は市内の周辺地域に比べて交通量が多く、交通渋滞も発生しやすい。さらに歩道が確保されていない細街路も多く見られるため、交通安全性の確保や災害時の避難路の確保など、防災性が高い、快適な環境を創り出すことが必要となってきている。 ・阪急長岡天神駅周辺において、戦後、都市基盤施設の強化や都市機能の増進を目的に、昭和32年「開田土地区画整理事業」が都市計画決定された。しかし、社会情勢の変化や市街化の発展、地権者の意向調整に難航した経過もあり、当初の計画通りの事業実施が実質的に困難な状況となっている。 ・このような状況の中で、「JR長岡京駅西口地区再開発事業」が先行的に実施され、平成17年に完成した。駅西口周辺では、複合施設などの商業・居住施設及び駅前広場等の公共施設の整備が完了し、東口周辺には、企業の本社が立地するなど、研究開発・業務施設が整備されている。 ・これらの事業に併せて周辺の住宅の開発も進み、特にJR東側の地区において、大規模な共同住宅が建設されるなど人口が増加、JR長岡京駅乗客数も増加傾向(平成24年19,974人/日→平成29年20,778人/日)にある一方で、阪急長岡天神駅乗客数数は減少傾向(平成24年18,133人/日→平成29年15,117人/日)にあり、両駅合計乗客数数は減少傾向(平成24年38,107人/日→平成29年35,895人/日)にあるため、本地区の交通結節機能の強化し、公共交通の利用を促進することが求められている。 ・平成30年3月には、地域住民らでつくる「長岡天神駅周辺まちづくり協議会」より「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」が策定されるなど、阪急長岡天神駅周辺についても再整備計画が計画されているが、現在、2駅を結ぶ一体の地区として統一感のある街区とはなっておらず、歩道拡幅による道路整備等により街区が整序化され、安全で快適な空間を創生し、地区の回遊性を高めることが必要である。 ・また、長岡中央商店街(アゼリア通り)や神足商店街(西国街道)などを有し、商店数が多い地区ではあるが、連坦化が十分では無いなど、魅力ある賑わい空間の創生が求められている。
課題
・高齢者の増加、子育て世代の増加を背景に、高齢者や子育て世代にとって安心できる健康で快適な生活環境が必要である。そのため、都心ゾーンに位置付けられる本地区において、利便性の高い空間を有効に活用し、市域をけん引する、賑わいある市街地の形成が必要である。 ・また、歩行者・自転車の安全性・快適性を確保し、駅へのアクセス性向上及び交通結節機能を強化すると共に、地域交流の活性化を図り、魅力あるまちづくりを進めることが求められている。 ・あわせて、歩行空間の整備やバリアフリー化を進め、高齢者や障害者、子育て世代など誰もが安心して通行できる環境を整えるなど、歩いて暮らせるまちづくりが求められている。
将来ビジョン(中長期)
＜長岡京市第4次総合計画＞(平成28年3月) ・利便性を活かした空間を有効に活用し、バランスのとれた都市機能と住宅整備によるにぎわいのあるゾーンを目指す。 ・阪急長岡天神駅周辺整備を中心とした市街地整備を推進する。 ＜第二期長岡京市都市計画マスタープラン＞(平成28年3月) ・長岡京駅西口地区、阪急長岡天神駅周辺において、市民生活を支援する商業・福祉・医療・教育サービスや交流などの機能の集積とともに、既存商店街のにぎわいをさらに高める商業機能の強化を目指す。 ・利便性を活かした空間を有効に活用し、バランスのとれた都市機能と住宅整備によるにぎわいのあるゾーンを目指す。 ＜長岡京市立地適正化計画＞(平成29年4月) ・都市施設の更新と再配置などによる都市環境の充実、コンパクトシティとしての魅力の向上

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方
・JR長岡京駅・阪急長岡天神駅周辺の中心市街地においては、市役所の建て替えに伴い生活サービス施設を複合化するなど、市民の利便性を高める。また、子育て環境の充実や、高齢期の豊かな暮らしを支える環境の充実を図り、都市の活力の維持・向上を図るために必要な都市機能を中長期的に誘導・維持する。
・また、鉄道駅やバスなどの利便性を高め公共交通の結節機能を強化し、地域交流の活性化を図り、魅力あるまちづくりを進める。
・利便性が高い中心市街地の周辺部に、人口減少の抑制に向けて特に子育て世代の移住者を居住誘導区域に誘導する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方
都市全体における現在の年齢別の人口構成や将来の人口推計、施設の充足状況や配置を勘案して施設整備を行う。
・高齢化の中で必要性が高まる病院・診療所等の医療施設、老人デイサービスセンター等の社会福祉施設、小規模多機能型居宅介護事務所、地域包括支援センター
・子育て世代にとって居場所を決める際の重要な要素となる幼稚園や保育所等の子育て支援施設、小学校等の教育施設
・集客力があり待ちの賑わいを生み出す図書館、博物館等の文化施設や、スーパーマーケット等の商業施設、行政サービスの窓口機能を有する市役所等の行政施設の整備

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等
都市再生土地区画整理事業や市街地再開発事業の特例を受ける場合は当該事業の概要、位置づけを記載。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
					基準年度		目標年度
地区内人口	人	計画区域内の居住者人口	都市活力の向上により人口減少を食い止め、計画区域内の人口維持により評価する。	17,362	H30	17,362	R4
JR長岡京駅・阪急長岡天神駅の平均乗客数	人/日	JR長岡京駅及び阪急長岡天神駅の1日あたり平均乗客数	地区の交流拠点機能の強化により駅利用者数の減少を止める。	35,895	H29	35,895	R4
広場活用イベント開催回数	回数/年	都心ゾーンの広場(イベントスペース)を活用したイベント開催回数	市民の活動を支援する活動の場を創出により、市民の余暇活動による活用が実施、周辺の賑わい創出に寄与することにより評価する。	131	H30	154	R4

計画区域の整備方針	
【整備方針1】地域の賑わい創生をけん引する事業の実施 ■市民の活動の場の創出・都市の活力を維持・増進 ・まちの中心に新たな新庁舎を建設しその内に多目的スペースとして、市民の活動を幅広くサポートし、魅力ある賑わい空間を創生する。 ・人口増加がみられるJR東側とまちの中心との結節点及び市の玄関口となるJR長岡京駅において、ゆとりと語らい、安らぎのある広場を整備する。	方針に合致する主要な事業 《基幹事業》 ・多目的スペース ・JR長岡京駅駅前広場
【整備方針2】市の玄関口にふさわしい交通結節機能の強化 ■JR長岡京駅東口の交通利便性の向上 ・JR長岡京駅東口駅前広場を整備し、自転車や歩行者の動線の改良を行い、快適性・利便性を高める。 ・インフォメーションセンターの整備、ベンチの設置など、来訪者の拠点として・市民が憩える場所として活用される空間を形成する。 ■阪急長岡天神駅東口の交通利便性の向上 ・阪急長岡天神駅東口駅前広場を新たに整備し、ロータリーや駅前空間を創設することにより、快適性・利便性を高める。	《基幹事業》 ・JR長岡京駅駅前広場 ・阪急長岡天神駅東口駅前広場
【整備方針3】生活や暮らしを支える都市基盤の充実 ■都市基盤の充実 ・人々の暮らしを支える道路や下水道の整備を行う。 ・細街路を解消し、地区の防災性を高める道路改良を行う。 ■歩行空間の整備 ・歩行者が安全・快適に通行できる道路空間づくりを行う。	《基幹事業》 ・市道第4042号線 ・庁舎西道路 《提案事業》 ・中央長岡第1号污水幹線 《関連事業》 ・S街路事業
その他	

様式(1)-④-1

(金額の単位は百万円)

...A

...B

02,600

都心ゾーン地区(京都府長岡京市)	面積	173 ha	区域	馬場1～2丁目、神足1～2丁目、神足3丁目の一部、八条が丘1～2丁目、一里塚、開田1～3丁目、開田4丁目の一部、天神1丁目、天神4～5丁目、長岡1～2丁目、東神足1～2丁目
------------------	----	--------	----	--

